



発行所 日刊金属情報センター

本社 〒530-0043
大阪市北区天満2-12-3
南末広ビル3階E号
電話(06)6353-7831(代表)
FAX(06)6353-7832

東京支社 〒104-0033
東京都中央区新川1-31-8
ニッケハイム茅場町
電話(03)3523-0442(代表)
FAX(03)3523-0443

購読料 6ヶ月 36,750円 前金
3ヶ月 18,900円

アルミ
くず

関西アルミ9月前半も横ばい推移 8月全体の流れを引きずる スクラップ発生自体の少なさも要因の一つか

関西アルミスクラップの9月前半は、前月同様横ばい推移の流れになるようだ。

この背景には8月のお盆休みを間に挟んだことが大きな要因だが、スクラップ自体の発生 of 少なさや2次合金メーカーの電力料金値上げに絡んだ生産量の抑制などの要因が複雑に絡み合った結果である。

だがLMEアルミ相場が9月12日入電でセツルメントが2,058ドルと2千ドル台で推移し、LME相場の上昇が今後の市中相場のアップに繋がるのではないかとの見方をする間屋筋もあり、9月後半から先を見越しての在庫確保に動く間屋の気配もある。

ある大手間屋は、「9月後半からLMEの相場を見ながら、こちらも少しずつ相場を上げられるようにしていきたいが、そうすると地方の業者が溜め込んでいる品物が2次合金メーカーに流れ込む気配もあり、そうすると合金メーカーからの断り値が出る可能性も出てくる。大阪全体が他の地域と比較すると陥没地帯のような感じになっているので、匙

加減一つで現状より更に相場の悪化の可能性も無くはない」と話した。

アルミ2次合金メーカー買値実勢値 (1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (9月前半)

2S=136円~139円、63S=136円~139円、アルミホイール(1P)=132円~138円、ビス付サッシ=118円~121円、エンジンコロ=116円~123円、込合金(機械铸件)=106円~112円、缶プレス(ソフト)=96円~100円

関西地区 (9月前半)

2S=130円~137円、63S=128円~135円、52S=119円~126円、印刷板=133円~140円、アルミホイール(1P)=131円~136円、ベースメタル=153円~163円、機械铸件=97円~106円、ドライ粉=83円~93円、ビス付サッシ=100円~106円、缶プレス=88円~98円

8月のアルミスクラップレポートおよび9月の見通し

橋本金属×アルミ 橋本健一郎氏

予測レンジは、LME現物後場買い1800-1900ドル、スクラップは前月最終価格より据え置きから-5円

■概況:前半はECBが欧州高債務国の国債買い入れや米FRBの追加的金融緩和(QE3)期待で上昇する場面もあったが中国鉱工業生産が+9.2%と予測の+9.7%を、小売売上高が+13.3と予測の+13.1%を下回った事を嫌気し下落1810ドルと50ドル下

落しての前半締めとなった。

後半は中国不動産価格の上昇に伴う金融緩和期待の後退や不動産規制引締め観測など、マイナス材料から1800ドルを切る場面もあったが、中国温家宝首相および当局高官が利下げに関してコメントした事やHSBCのPMI指数(消費者物価)が47.1と景気過熱感となる50を下回った事による金融緩和期待から反発。9月1日現在、LME(現物

7400ドルを切る水準まで下落するものの、ECB(欧州中銀)が国債購入を再開するのとの報道やFOMC議事録で追加的金融緩和(QE3)への期待がつながった事から急反発から9月1日現在前半から170ドル上昇の7576ドル 建値64万円のスタートとなった。

■前月の経済指標:日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比+3.3%の92万2685台であった。日本自動車販売協会連合会によると自動車販売台数(軽除く)は前月比-29.2%の23万2372台(前年比+7.3%)。国土交通省によると新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)+4%(昨年比-9.6%)の7万5421戸であった。

また、財務省貿易統計によると輸出は前月比で電気銅が-7.8% 3万9980t、スクラップが+5.1%の2万7231t。輸入は、電気銅が前月比-35.4%の2106t、スクラップ+5.2%の5850tとなった。

■前月の国内指標:日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比-0.6%の6万8510t(昨年対比-5.7%)。日本電線工業会発表の出荷速報(推定)によると前月比+4.3%の5万9800tであった(昨年対比+9%)。

■見通し:今月は自動車生産に関しては好調、ただ自動車販売や住宅関連は伸び悩みが感じられた。欧州懸念は独メルケル首相がユーロ防衛に意欲を示した事やECBの国債購入再開期待からから現在は安定。

自動車生産は前年比+16.7%の92万2685台と12カ月連続上昇し、堅調に推移。ただ

国内自動車販売台数が23万2372台と前年比+7.3%と伸び悩んだ。(前月比-29.2%)自動車関連が少ない伸銅品生産量は前月比-0.6%の6万8510tの昨年対比(-5.7%)と14カ月連続前年割れ。

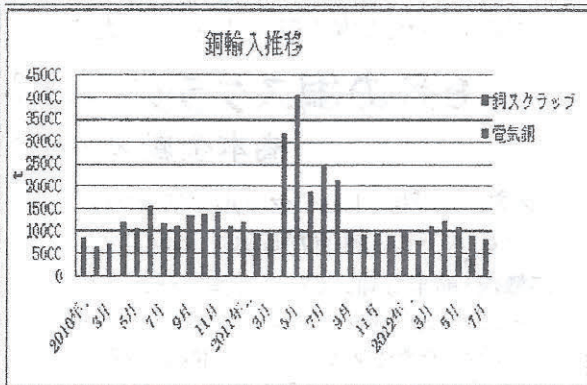
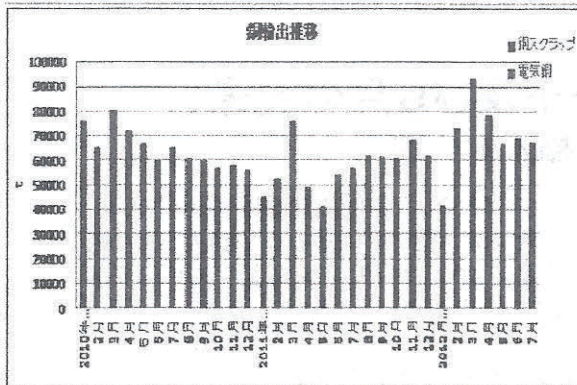
銅電線出荷量は、前月比+4.3%の5万9800t、昨年対比+9%と6カ月連続回復へ。今回も自動車・住宅向けに助けられ形に。新設住宅着工数は季節調整前月比+4%の7万5421戸、前年比は-9.6%と大幅減少、ただし住宅エコポイント切れ前の駆け込み需要の反動か

輸出に関しては、電気銅輸出が前月比-7.8%の3万9980tと4カ月連続の減少。銅スクラップは+5.1%の2万7231tとこちらは上昇した。輸入は電気銅が-33.4%の2106t、スクラップは+5.2%の5850t。

銅需給に関しては、先月も自動車関連の本格的な需要が継続、ただし自動車販売台数で-29.2%と大幅下落、前年比では+7.3%と増加してるものの急減する可能性があり注意が必要。住宅着工数も-9.6%(前年比)と大幅減少。ただ昨年同月が住宅

	5月	6月	7月
生産台数	78万1349台	89万3149台	92万2685台
前月比	-2.5%	+20.1%	+3.3%
昨年対比	+19.5%	+20.3%	+16.7%
販売台数	31万1152台	32万8543台	23万2372台
前月比	+34.2%	+3.6%	-29.2%
昨年対比	+40.9%	+36.1%	+7.3%
新設住宅着工	6万9638戸	7万2566戸	7万5421戸
季節調整 前月比	+0.8%	+7.3%	+4%
昨年対比	+9.5%	-0.2%	-9.6%
輸出	5月	6月	7月
電気銅	2721t	3258t	2106t
前月比	-45.2%	+19.7%	-35.4%
スクラップ	7860t	5852t	5850t
前月比	+11.5%	-29.2%	+5.2%

	5月	6月	7月
電気銅	4万3866t	4万3366t	3万9980t
前月比	-6.3%	-1.1%	-7.8%
スクラップ	2万3007t	2万5905t	2万7231t
前月比	-28.2%	+12.6%	+5.1%



エコポイント切れの駆け込み需要であったため。その他の関連業界は引き続き悪化しており、伸銅品生産に関しては14カ月連続悪化の-5.7%(前年比)。夏季休業を受けての絶対的な発生量の不足が予測されるがその後の先行き不安(欧州問題)や頼みの自動車販売台数減少からセンチメントが悪化し需給はゆるい。

銅価格に関しては、独メルケル首相の

ユーロ救済に関する積極発言や中国の景気対策期待がでる一方で米、欧州の経済指標好転にから追加的金融緩和(QE3)が行われる可能性が今月は低い事などから上値で7800ドルあたり。ただ下値も前月に続き最悪の場合は米、中の金融緩和の期待(あくまで期待)が下支えしLME価格で7000-7800ドル。銅建値に関しては59-65万円程度と予測している。

「元素のふしぎ展」レポート

東京・上野の国立科学博物館にて現在「元素のふしぎ」展が現在、開催されている。

この展示会は、現在発見されている118種類の元素全てについて、判りやすく紹介し、放射性元素等の実物展示が難しいもの意外は元素それぞれの単体や、その元素から出来ている製品等を「目に見える」または「手に触れられる」形で興味を持って貰おうと言うコンセプトの展示会だ。

9月1日に弊紙記者が取材で窺い、特に目を引いたのが「元素体重計」である。この「元素体重計」、単に体重を測定するのみならず、人体を構成する様々な元素:酸素・炭素・水素・窒素・カルシウム等などで、主要な元素の重さを測定→表示してくれるものであ

る。

その他、人工宝飾品や実際の金の延べ棒等に触れられるブースがあり、大人でも軽く2~3時間は楽しめる展示になっている。普段から慣れ親しんでいる金属についての再発見や再認識ができるので、興味のある方はぜひ足を運んで貰いたい。ちなみにこの日、「来場者数は10万人突破直前」と広報担当のコメントだが、本記事掲載時には既に10万人突破しているだろう。なお、同展示会は、最終日は10月8日で、営業時間が午前9:00~午後5:00、会場は国立科学博物館(東京・上野公園)。

電線・ケーブル

ご一報の上お越し下さい

ナゲット加工

大栄テック(有)

(国道163号線に面す)

〒575 四条畷市大字中野541

-0052 電話 072-878-5115



高純度シリコン99.999999999%(イレブン・ナイン)

